HARLEM

SPIT'EM OUT! "it's absolutely raw"
- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

JULY-2002

Special Interview TOP DRUNKERS (MUMMY-D, MAGIC) & KOHEI JAPAN

HARLEM ver.1.0に収録されている「TOP DRUNKERS SHOW Part.1」で話題を呼んでいる幻のグループTOP DRUNKERS(MUMMY-D、MAGIC)& KOHEI JAPANの巻頭インタビュー。それぞれ違うグループで活動しつつも、プライベートでも仲の良い3人が、独自のグルーヴで楽曲の事、HARLEMの事を話してくれました。まだ曲を聴いてない人は、聴いてから読んでね。

●作品を作り終えた率直な感想は？

MUMMY-D(以下、D)：結構まとまったかな、意外と。どうなるのかなこの3人でって思ってたけど。

MAGIC(以下、M)：みんなに凄く息が合ってるって言われた。「すごい念入りに打ち合わせしたでしょー」とか言われて、「いや全然・・」って(笑)。

KOHEI JAPAN(以下、K)：オレから見たらMAKI君(MAGIC)とはキエるマキュウのアルバムもやってるし、オレのアルバムでも何回かやってるし、兄貴(MUMMY-D)とは結構いろいろやってるし、慣れていたし、やりやすかったですね。

D：別に大して新鮮味のない3人だったね(笑)。ある意味また同じ様なものが出来ちゃうんじゃないかと思ったけど、意外と素敵な曲に仕上がることが出来ました。オレ結構好きだよ。

M：オレも。最近みんなに誉められて嬉しいもん。

D：アルバムであの曲だけ色が違うみたいって言われて、その後聴いてみたんだけど確かに違うなと(笑)。でもさ、みんなあんまりHARLEMの事を歌ってなくてダメだよ。全員中2階の事歌わないとダメだよね。中2階じゃなくてもいいけど自分の居場所の事を歌わないとダメだよ。

M：みんなHARLEMでかける感じで作りましたって言ってるけど、HARLEMの事は考えて作ってないじゃんって思った。

●テーマはすぐ決まったのですか？

D：テーマはマキ君が勝手に決めた。

M：適当じゃないよ。ちゃんとDr.コパの風水で調べました。

●トラックについて

M：気分一新でTOP DRUNKERSなりに違う感じでトラックは作ったし、リリックもTOP DRUNKERS用に書いたって感じ。普段とは違って割とストレートに書いたつもり。

D：うん、そうかもね。

M：オレの中でTOP DRUNKERSはこうなのかなって考えて作った。気分的には WU-TANGっぽくやろうかなって思って作ったらあんな感じになりました。マキュウの時はスネアを緩めに切ってるんだけど、今回は割とタイトに切ってみた。マキュウの時はズレの美学っていうのを追求してるから今回は割と普通にやったのでマキュウとは全然違うって感じ。

D：歌詞の内容もWU-TANGを意識してるし。

M：3人が3人適当に書いて来たんだけどなんか繋がったって感じ。

D：多分WU-TANGもああいう事を歌ってるんだろうなって。オレもそんな英語強くないけど、でもまあ大体同じかな。

M：多分意味的には似たようなものだよね。

D：似てるね、かなり近い。

M：それが薬だったりパーティものだったり、でもお互いイタイ人達ってことで言ってる事は大体同じだよ。

D：確かWU-TANGも"チュウニカイ"みたいな事言ってたよ。

M&K&D：(笑)

●作品の一番の聴き所は？

M：KOHEIの「ポッポー」って所あるじゃん。あれ鳩が寄ってくるように鳥笛とか使ってるからさ。そことか。

K：ここだっていうのはないんだけど、でも中2階にいるっていう感じで書いたから、それがなんとなく情景が浮かべばいいかな。

M：KOHEIのペットのワニが逃げたんだよ。今問題になってるでしょ？ペットのワニが逃げたって。それを探しながらリリックを書いたっていうのが印象的だな〜。

D：KOHEIの聴き所はねー「おじちゃんのにおい」って所だね(笑)。"おじちゃん"って言うとホント嫌な感じがするよね。"おじさん"とか"おやじ"じゃなくて、"おじちゃん"って所がいいんだよね。

K：それは考えた。"おじさんのにおい"じゃユルいなって思って。もっとこう匂い立つような言い方だったら"おじちゃん"だなぁって。

M：KOHEI言われた事ある？

K：う〜ん、ないっ。

M：タバコ吸う人って言われるらしいよ。小さい時お父さんの後にトイレ入ると「うわ〜」っていうのなかった？やっぱり毛穴から出るらしくて、朝起きると「うわ〜テキーラ臭い！」って起きる時あるでしょ？

D&K：関係ないじゃん(笑)！！

M：でも結構飲むと自分の汗がアルコール臭くて嫌な時あるでしょ。それと同じでおじちゃん臭さって、タバコ吸ったり年とると分泌物が違って特定のにおいが出るらしいよ。

D：あと聴き所は、MAKI君の合いの手。"バンジャイッ！"とかさ。あとね、フックの後の"TOP DRUNKERS〜"って入るところのタイミング。あれは最高。あれは天才的。

M：操られてるから、ただの人形みたいに。「言って下さい」って言われると素直に従っちゃってて。後で聴くとオレが雷受けてる避雷針みたいじゃん。

D&K：(笑)

●あの合いの手は最初から予定されていたのですか？

M：予定なんかないよ〜。D(MUMMY-D)が「MAKI君これ歌わないと」「えっ？」ってさ。

D：うん勝手に書いて、やらせた。

M：最初はオレ「バカじゃないの〜」って思ったけど、それはそれでアリかなって。

D：それがうちらの聴き所。聴き所はMAKI君。

M：とりあえずDっていう蒸気機関車にみんなが引っ張られた。シュッシューって感じで。オレは食堂車。車掌の命令でいろんなもの出させられるんだよ。

D&K：(笑)

●Part.Iと言うことでPart.IIを期待する声もありますが、Part.IIは続きものですか？

M：全然関係ないと思うよ。恋愛の話しかも知れないし、サッカーの話しかも知れないし。みんなサッカー部だし…。イレブンって曲かも知れないし。いきなりPart11かも知れないし。"取って〜"とか"競って〜"とか"ナイスシュート！"とかね。

●制作過程でのエピソードは？

D：最初に書いてきたMAKI君の歌詞は殆ど残ってない。2日目のレコーディングの時 に1番が全く変わっちゃって、オレはその1番の歌詞結構好きだったんだけど。2番はあんまり酒の事歌ってなくて、"破戒僧"がどうのこうのって何か違うな〜って思ったら、適当にマキュウの歌詞をやってるだけだったっていう(笑)。一生懸命やり直したりしてるからこれなのかなーって思ってたら違った。

M：仮入れだけど、一応普通にやらなくちゃって思って。

D：ニセ歌詞を何度も録り直してて。信じられなかった(笑)。

K：一番最初に聴いた話しだと、MAKI君がトラックを作って兄貴とオレで二人でやるって話しだったんだけど、もしそれでやってたらこうはなってない。それはやっぱりMAKI君の毒が注入されてこれはこれであり得ない曲が出来上がったという。これはこれで正解でしょ。やっぱり凄い存在感。ボーカルブースに入ってワーッてやった瞬間にレコーディングのブースの方がワーッと笑うみたいな。面白かったですね。

M：オレ毒毒モンスターって感じで。

●6年目に突入したHARLEMですが、アーティストとして、またはプライベートでHARLEMを見てきてここは変わったなと思う点があったら教えて下さい。

M：今年に入ってそんなに行っていないのにKOHEIがいきなり中2階ランキングの2位って所が凄いよね。

K：うん、某雑誌のHARLEMの特集ページみたいなものがあって、その番外編で中2階ランキングの2位でした。

M：店員は相変わらず面白い人達が入ってきてるけど、音楽好きの人達が減っているような気がするよね。例えば昔はアナログってすごい売れていたでしょ。いくら少子化って言ったって日本の人口はそんなに変わるわけないのに、今アナログの売上げが凄い落ちてる訳じゃん。そうかと言ってCDの売上げが上がっている訳ではないし。でもアナログの売上げが落ちたのってここ2〜3年だし、元々昔からからターンテーブル 持ってるようなマニアしか買ってなかったのに落ちたって事はさ、音楽とかに対する 興味が違った方向に言ってるのかなって思う。でも全部が全部音楽好きばっかりでマニアック化してもクラブは面白くないし、バランスが難しいよね。やっぱりいい意味でDJが引っ張る部分ってでかいと思うよ、クラブって。DJが踊らせながら曲を提案していくのがいいんじゃないかな。

D：オレは自分の仕事の時と、人がなんかやってる時に行く感じだから、多分年に10回位しか行ってないかも知れないけど、あんまり変わったっていう感じがしないけどね。いつ行っても盛り上がってるなって感じで。KOHEIは？

K：うんオレも。楽しい。

●HARLEMに対しての要望や、HARLEMに来るお客さんに対しての楽しみ方のアドバイスなどがあったら教えて下さい。

D：HARLEMに来る人達は自分で楽しみ方は知ってるでしょ。オレらが言うまでもないって。おじちゃん達はあんまりダンスフロアには出ず、大体天井の低い所にいて酔っぱらっているか、それかステージかブースって言う非常に極端な動きをしているけど、みんながそういう遊び方が出来る訳じゃないしね。

M：とりあえず狩人はトイレ前にいるよね。

D：うん、狩りの人達はね(笑)。

M：オレは何故かいつも中2階のバーカウンターの横なんだけどね。

D：自分の定位置を探すことだね。例えば「階段の人」とかいるじゃん。階段の折れ 曲がった辺りの人とかさ。でもね、行ったことないクラブで自分の居場所がなくてどうしたらいいかわかんない時ってあるじゃん。そういうのをなくして、ここはオレの場所っていうのを作れば楽しいんじゃない？大体いつもそこにいる人達とは仲良くなれるじゃん。デカ箱だったら全員とは仲良くなれないけど、自分の持ち場を死守する。飲み中心の人、踊り中心の人、ナンパ中心の人ってあるよね。どれでもいいと思うけど、それぞれに合った場所があるハズだからそれを間違えないように。

M：そうだよね、場所とかってあるよな。

D：例えばさ、ブースの側で踊ってる人って明らかにそんなに飲んでないでしょ。だってドリンクゲットするの大変じゃん。

M：でもねDJブースの側で踊りすぎていると、悪い人達がショットを持ってくるらしいけど。知らない人達で全員飲んでるって。ウワサだけど。

D：後は、狩人とか釣り人の人達もポイントを間違えないように。HARLEM全体を水槽のように考えるとさ、上の方には回遊魚がいて、下の方には深海魚がいて。

M：やっぱりフィッシャーマンがトイレ前に集まるのが分かるような気がするよね。 中2階に集まらないのは、中2階には老獪な魚が多いから、餌だけ食べてペッて吐いちゃうような魚とか、投げる前に餌だけ先に食べちゃう魚とかいるからさ、だから釣り人は下のバーカウンターの辺りにいるんじゃないかな。

D：ほらあそこは潮が混ざってるから凄い上手い具合にいろいろプランクトンとかあるんだよね。トイレも近いし。

M：でもたまに釣り人じゃなくて、ダイナマイト漁法というか投網みたいなすごい釣りする人がいるよね。現在では禁止されているような漁法(笑)。

D：(笑) とりもちみたいのね。

K：僕は去年は相当釣り人だったので、釣りの心得はMAKI君から教えてもらいました。

M：KOHEIは打率10割に近いからね。イチローも驚くよ、ホントに。でもさ、HARLEMって友達作りに来ている人多いんじゃない？オレもやっぱりクラブでいっぱい友達出来たりしたもんね。

D：それはそうでしょ。クラブが楽しいのって、人に会えるからなんだよね。

M：あとHARLEMがいいのはデカ箱だから、女の子なんかは嫌いな奴が居ても逃げれるもんね。小箱だと逃げれないから嫌だって女の子よく言うもん。HARLEMは逃げ場があるからそういう所もいいんじゃないかな。

●最近の活動と今後の活動予定。

K：今MELLOW YELLOWで全国を回っていて、9月中旬にワンマンのライブをON AIR WESTでやって、KOHEI JAPANソロのアルバム制作に入ろうかな。発売は来年の8月予定。

D：オレはまだツアーが終わってないんだよ。8ヶ月もかかるんだよ全国終わるのに。 ダラダラやってるんだけど今は。それが8月に終わってその間にFUJI ROCKとか出て、今やってるのはRHYMESTERの曲をバンドで再構成するみたいな企画をやってて、結構いろんなジャンルの渋めのバンドを使って前に出した曲をやってみようと思って。そのCDを10月に出す。その後アルバムに向けてシングルを出す予定。

M：今度沖縄行って、潜水艦の「もぐる君」に乗ろうかなって思って。知ってる？水深30mまで行くんだよ。沖縄行くの嬉しくて調べてたら"水中30mのお散歩"って書いてあって。それがまず今後の活動ね。後はね、沖縄で日焼けする事でしょ。あと泡盛を飲まなきゃいけないし。それと、これはオレ個人とは違うんだけど、友達が新しく「セルジオスポーツ」っていうブランドを作ったんだ。石川(DJ SERGIO)がデザイナーなんだけど、そのメインキャラクターがKOHEIらしくて、ステージ衣装とかで着てるから、これは見た方がいいよ。結構カッコイイよね。後はKOHEIと一緒にRED ANNIMAL(絶滅寸前の動物)でも保護しに行こうかなって思ってる。一応地球を愛する人達だから、3人とも。

●TOP DRUNKERSとしての活動は？または3人でやりたい事は？

M：TOP SDRUNKERSは風が吹いたら桶屋が儲かるって感じで気が向いたらあるんじゃないかな。忘れた頃に出てくるかもね。とりあえず旅行行きたいね。

D：温泉に行きたいね。それで温泉の思い出を曲にする。日本のいろんな名湯を回ってそれをパッケージにしてアルバムにする。

K：オレはTOP DRUNKERSじゃないし。

M：でももうTOP DRUNKERSに入ってるよ。

D：オレもTOP DRUNKERSじゃない。

M：(笑) ひどいな。それじゃオレRED ANNIMALになっちゃうじゃん。

D：絶滅寸前だから誰かに救ってもらわなくちゃいけないんだ。TOP DRUNKERSは誰も待ってないからね。みんな忙しいし。たまたまだから。

M：偶然の一致で出来たんだよね。なあなあだけど3人集まるとこういう作品が出来るのかなって。

●読者&リスナーに対して一言。

K：歌詞の内容とホント一緒で、HARLEM行った時はホントあんな感じでいるんですよ。超リアルで。

M：でもオレ今までに1回か2回しか寝たことないんだけど。

D：寝てはいないんだよ。でも下向いてちょっとふてくされ気味になってきて、反応が少し鈍ってる時はそろそろMAKI君帰るなって。みんな確かめに来よう！！

M：最近でも泥酔はしてないと思うんだけどなぁ。

D：でもオレ誰かに「ホントに中2階にいるんですね」って言われた事がある。確かめに来よう！！

M：オレの推察によると中2階にはフーリガンはいないかも。トイレ前はいるよ。そんな事言っても楽しいからね。HIP HOPのデカ箱ってHARLEMしかないから、楽しむしかないよね。このグループでLIVEがあるかどうかはわからないけど、あったら奇跡に近いし、それが地方でもみんな青春18切符で見に来て下さい。